

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年4月15日 (2010.4.15)

【公開番号】特開2008-239700(P2008-239700A)

【公開日】平成20年10月9日 (2008.10.9)

【年通号数】公開・登録公報2008-040

【出願番号】特願2007-79423(P2007-79423)

【国際特許分類】

C 1 0 M 133/08 (2006.01)

C 1 0 M 169/02 (2006.01)

C 1 0 M 105/04 (2006.01)

C 1 0 M 107/50 (2006.01)

C 1 0 M 133/40 (2006.01)

C 1 0 M 133/50 (2006.01)

C 1 0 M 133/16 (2006.01)

C 1 0 N 30/00 (2006.01)

C 1 0 N 40/02 (2006.01)

C 1 0 N 40/14 (2006.01)

C 1 0 N 50/10 (2006.01)

【 F I 】

C 1 0 M 133/08

C 1 0 M 169/02

C 1 0 M 105/04

C 1 0 M 107/50

C 1 0 M 133/40

C 1 0 M 133/50

C 1 0 M 133/16

C 1 0 N 30:00 Z

C 1 0 N 40:02

C 1 0 N 40:14

C 1 0 N 50:10

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月23日 (2010.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

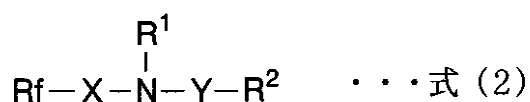
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

合成潤滑油を基油とするグリースに添加する基油拡散防止剤であって、下式 (2) で表される化合物である、基油拡散防止剤。

【化 1】



ただし、式 (2) 中の記号は以下の意味を示す。

R^f : 炭素数 1 ~ 14 のパーフルオロアルキル基またはパーフルオロポリエーテル基。

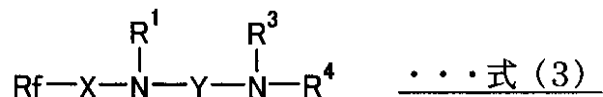
X、Y : 単結合または 2 価の連結基。

R^1 、 R^2 : それぞれ独立して水素原子、または置換基を有していてもよい 1 価の有機残基であり、 R^1 と R^2 は共同して環を形成してもよい。また、 R^1 および R^2 はそれぞれ X の一部と共同して環を形成してもよい。

【請求項 2】

前記式 (2) が下式 (3) で表される、請求項 1 に記載の基油拡散防止剤。

【化 2】



式 (3) 中の R^3 および R^4 は、それぞれ独立して水素原子または置換基を有していてもよい 1 価の有機残基である。 R^f 、X、Y、 R^1 は、前記式 (2) と同じ意味を示す。

【請求項 3】

前記 X が、 $-(CH_2)_m-$ (m は 1 ~ 10 の整数)、 $-CH(OH)-$ 、またはこれらの組み合わせからなる 2 価の連結基である、請求項 1 または 2 に記載の基油拡散防止剤

。

【請求項 4】

基油拡散防止剤を添加した、合成潤滑油を基油とするグリースであって、

前記基油拡散防止剤が請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の基油拡散防止剤であり、前記基油拡散防止剤を含むグリースにおける前記基油拡散防止剤の含有率が 0.01 ~ 15 質量 % であるグリース。

【請求項 5】

前記合成潤滑油が炭化水素系である請求項 4 に記載のグリース。

【請求項 6】

前記合成潤滑油がシリコン系である請求項 4 に記載のグリース。